

子ども向け冊子「先人に学ぶ山づくり」を発行

「裏木曽御用材伐採式」の開催に併せて、裏木曽の森林文化を学ぶための子ども向けの冊子を発行します。

■発行 令和 7 年 5 月 14 日（水曜日）

■発行部数 1, 000 部

■配布先

- ・市内全小・中学校の各学級に 2 部ずつ配布
- ・市公民館・図書館・地域図書館に配布
- ・なかつがわ森の木遊館「大人の木育講座」参加者に配布

■冊子の内容

- ・川上・加子母・付知は、江戸時代に木曽一帯とともに「尾張藩領」に編入され「濃州三ヶ村」や「裏木曽三ヶ村」と呼ばれていました。
- ・尾張藩は「林政改革」を進める中で、加子母村の庄屋「内木彦七」に木曽の「三浦山」と「裏木曽の山」の管理・取り締まりを任せました。
- ・1,600 年代の築城ラッシュにより伐りつくされた裏木曽の山は「ヒノキ一本首一つ」というような幕府の厳しい保護政策と「山守」が自然の摂理に沿った森林の回復を進めたことで、現在の「木曽ヒノキ美林」が残っています。

■監修・イラスト

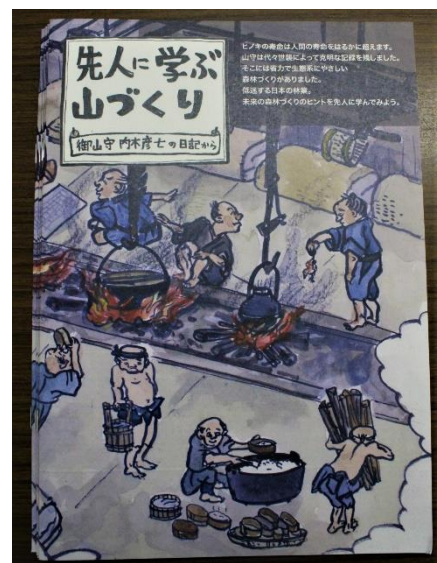
- ・山守資料館：内木 哲朗氏（加子母在住）に監修をお願いしました。
- ・絵本作家：本間 希代子氏（加子母在住）にイラストをお願いしました。

■発行者

- ・千年の森磨き上げ実行委員会 会長 細川 正孝
事務局 農林部 林政課

■その他

- ・山守資料館（中津川市加子母 4092）※要予約
Mail: yamamori.museum@gmail.com



お問い合わせ先

農林部 林政課 担当者：桂川
電話：0573-66-1111（内線 4031）